

◆直結増圧式給水とは

直結増圧式給水とは、浄水場にある配水ポンプの力だけで蛇口まで給水する直圧方式を一步進めたもので、直圧では届かない高さにある中高層ビルのようなところであっても、増圧ポンプの力によって水を押し上げ、各階の蛇口まで給水することが可能な方式です。この方式であれば、浄水場からの水を直接給水可能であるので貯水槽方式よりも衛生的であり、また、受水槽等の設置スペースが不要となるなどの様々な利点があります。

◇直結増圧式給水と貯水槽式給水のちがい

直結増圧（直圧）式給水、貯水槽式給水にはそれぞれ次のようなメリット・デメリットがありますので、これらを十分に検討したうえで、お客様の建築物に最適な給水方法を選択する必要があります。

～直結増圧式給水（3階直結直圧式も含む）～

☆メリット

- ・受水槽や高置水槽の定期的な清掃などの維持管理、それに伴う費用が不要です。
- ・受水槽等のスペースが不要です。
- ・集合住宅等の場合での各戸メーターはすべて市メーターとなるので、検針・収納業務、また、検定満期となったメーターの交換はすべて市の負担で行います。

★デメリット

- ・断水時には直ちに給水停止となります。
- ・集合住宅の場合、各戸+非常用として別に1つ市メーターを取付けるので、各戸数+1戸分の加入金、手数料等の負担がかかります。
- ・年1回はプースターポンプの保守点検をする必要があります。
- ・ポンプの故障や停電の場合は給水停止となります。（非常用として直圧の給水栓を用意してもらいます。）

～貯水槽式給水～

☆メリット

- ・急な断水時においても、ある程度給水を確保できる。（受水槽内が空になってしまえば給水停止となってしまいます。）
- ・常時一定の水圧、水量を確保できる。

★デメリット

- ・受水槽や高置水槽の定期的な清掃などの維持管理、それに伴う費用が必要（水道法・条例により義務づけられています。）
- ・維持管理が悪ければ水質低下を招きやすい。
- ・受水槽を設置するスペースが必要です。
- ・ポンプの故障や停電によっては給水停止となってしまいます。
- ・集合住宅の場合において、各戸メーターを取付けている場合、検定満期（8年毎）となったメーターはすべて設置者の負担で交換しなければなりません。

